



さわやか



「公開授業研究会を終えて！」

多くの参観者、指導助言者から、肯定的な感想、意見をいただきました。それは、大きく3つに分類されました。

【本校の目玉である「対話的な学び」への感想・意見】

- 手立てが工夫されており、児童が課題解決の見通しを持って取り組んでいた。友達の説明を繰り返し、自分の言葉で伝える活動から、発表が一方通行にならず、学び合うことができたと思う。

【日常の授業で子どもを高めていることへの感想・意見】

- 落ち着いた態度での授業が素晴らしかった。子どもたちが活発に意見を出している様子からも、日頃からの指導の様子がうかがえた。※ その他、「普段」「日々」という言葉が目立ちました。

【公開授業や子どもの活動の質についての感想・意見】

- 発表もグループの話し合いも活発に行われていた。男女仲良く話し合いがなされていて、とてもいい学級づくりをされていると感じた。雰囲気もよく、居心地が良かった。「自分のクラスのルールづくり」ととても主体的に話し合えたと思う。落ち着いた態度での授業が素晴らしかった。子どもたちが活発に意見を出している様子からも、日頃からの指導の様子がうかがえた。
- 先生方の研究への取り組みの成果がよく現れていた。授業研究を通しての研究のつながり、流れがよく分かる「研究の概要」だった。

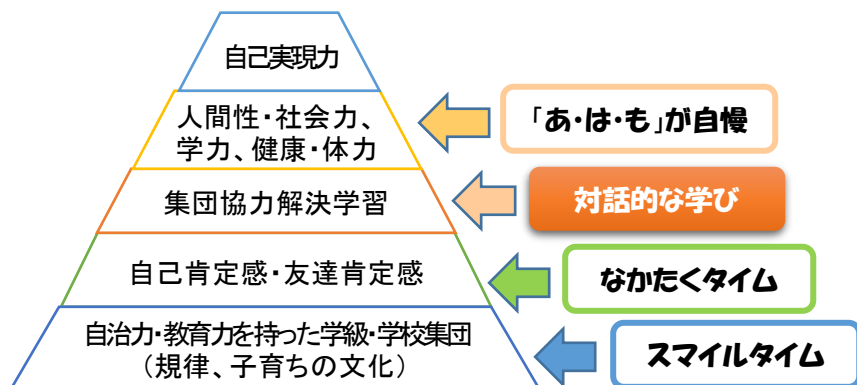
その他に、「取り入れたい。」「勉強になった。」「生かしたい。」「お土産をいただいた。」等、活用力を育み高める「主体的、対話的で深い学び」のある授業づくりと、そんな授業の日常的な積み重ねにより、「子どもたちが落ち着いて授業に取り組み、一生懸命学習している姿が印象的だった。」にある子ども達の姿は、研究成果として自慢できる内容でした。



授業された先生方は、素敵でスマートな授業を見せてくださいました。そして、それをチーム力で支えました(右写真)。素敵な塩川小教職員です。



子どもの育ちは「積み上げ型」です。順序よく、総合的に、そして具体的に！



塩川小児童の姿を表す言葉に、「子ども達が落ち着いて、同じ方向に向かって、意欲的に集中して学び合う姿が印象的だった。」という内容がありました。

個として、集団として身に付けておくべき資質・能力、態度が育っているからこそその姿と考えます。

それを左の図に示しました。職員会議等で話してきたものですが、再確認し、ご指導ください。